

「医療とAI活用について」

2021年は新型コロナ感染の拡大に伴い、今回のセミナーも含め、オンラインでの開催が多くなると予想されます。ただし、内容はむしろ充実させていますので、多くの皆様のご参加を期待いたします。

開催日時：2021年1月27日（水）13：30～16：00 会場：（MS Teams によるオンライン開催）

講師陣： 1. 「ビッグデータ・AIが拓く医療の第三次革命」

近年注目されているビッグデータ・AIの医学・医療への応用は、今後、数十年継続する「第3次医療革命」を引き起こす。ここで第3次とは、抗生物質による細菌性感染症の激減という第1革命、それに続く、分子生命科学の発展による分子医学の席捲という第2革命に続き、それらに匹敵する根底的な医学・医療の改革が開始されようとしていることである。これまでの医学では、＜医学研究者の関心や社会の要請＞のもとに、一定の医学の対象領域が選ばれ、これまでの知識に基づいて、解明すべき未知の機序に対して仮説が構築され、それを実験を通して検証していく、「仮説駆動型」医科学によってなされた（K. Popper）。これに対して、ビッグデータ・AI時代の医学研究、すなわち「データ駆動型」医科学では、ゲノム・オミックスなどの網羅分子的データの収集から知識を生成するため、知識の深度は一様で、分野の境界に煩わされることはない（分野横断性）。そのデータは、一様な深さをもち「全体表出性」を持つ網羅的データである。本質的な低次元要因から生成される生成性をもつデータであれば、deep learning のautoencoderによって、「教師なし学習」によって自動発見される。網羅的データー知識の自動発見ーデータの再合成という新たな知のオントロジーが科学を変革してゆく。また医療においても、Personal Omicsによるモバイルヘルスとシステム医学が発展し、治療医学ではなく予知制御医学、生涯にわたる医療が大きな位置を占めるであろう。

講師：田中博 氏 東京医科歯科大学 医療データ科学推進室，東北大学東北メディカル・メガバンク機構
2. 「医療AI研究の現状と今後の展望」

近年機械学習（特に深層学習）技術の急速な進歩、安価で性能の高いGPUが利用可能になった事、またビッグデータ時代と呼ばれる時代に入り、公共データベースの拡充などにより、大規模データの利活用が可能になったことなどの理由により、人工知能（AI）技術への期待が高まっている。実際、顔認証や自動翻訳、また自動運転などAIの社会実装は急速に進んでおり、医療分野においても、既に60以上のAI搭載医療機器が米国FDAから承認を受けており、日本においても、PMDAに承認を受けたAI搭載医療機器の実臨床応用が進んでいる。本セミナーにおいては、CREST及びPRISMという国の大型プロジェクトを研究代表として、また文部科学省のAI戦略に関する中核機関である理研AIPセンターのチームリーダーとして医療AI研究を推進した経験に基づき、医療AIの現状と今後の展望に関して紹介する。

講師：浜本 隆二（はまもと りゅうじ） 氏

- *国立研究開発法人国立がん研究センター研究所・分野長
- *東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・連携大学院教授（連携教授）
- *国立研究開発法人理化学研究所革新知能統合研究センター・チームリーダー
- *一般社団法人日本メディカルAI学会代表理事
- *国立研究開発法人・日本医療研究開発機構（AMED）医薬品等規制調和・評価研究事業検討会委員

お申込要項・・・（抜粋）

◇申し込み受領後すぐにご請求書を郵送します。「参加証」は原則 e-mailにて開催1週間前までにお送りしますので、メールアドレスは忘れずにご記入ください。

◇ お申込・お問い合わせ 事務局（株）ビジネスインテリジェンスネットワーク（BINET）
電話 03-5605-0875 FAX 03-5674-7322

◇ WEB上からも簡単にお申込が可能です。またセミナー詳細、要項等を必ずご確認ください。

<https://www.binet.co.jp/event/event.html#t01>

事務局宛（FAX 5674-7322） セミナー 申込書
BINET戦略セミナー210127（1/27）に 名 申し込みます

	参加者氏名	所属・役職
ご参加される方	1)	
	2)	
貴社名		
ご連絡先住所 書類送付先	〒	TEL FAX E-mail
	1)	
	2)	